

近畿地連OB会ニュース

No.263 2021 年9月1日<水>

民放労連近畿地連 OB 会

大阪市北区中崎西 2-2-1

TEL06-6364-5604 FAX06-6360-2122

minpororen-kinki@pop07.odn.ne.jp

また暑くなってきましたね、豪雨被災地の方々からは「不謹慎」とのそしりは免れませんが、お盆前後は涼しくて結構でした。 予報では9月初旬はまた雨が続きそうです、各位体調管理にご留意ください。



歌川広重「木曾海道六拾九次之内 四拾 須原」

当然何の根拠も無いのですが、昨春 COVID - 19 が広がって、緊急事態宣言が発出された時は「来年夏頃には収まるやろう」と推測していました。

そうは見えていなかった専門家の人たちはやはり慧眼でした。 現政権のふりまく根拠のない楽観論ではコロナ禍は乗り切れませんよね。医療が崩壊している大阪では知事から「野戦病院」設置などと、大向う受けを狙ったか時代錯誤的な発言も飛び出しています。

KBS-OB の中村さんからは身内に出た感染者の話が寄せられました。

今月号は 90 歳になられた壺岐一郎さんの「東京雑記」から。



東京雑記

8月～9月

スガ君に責任？ 大横浜の勝利！

〔今〕東京では第二次大戦の東条内閣と同じ、戦略なき狂気の政治といわれている。オリンピックからパラリンピック、これは女性知事が学校生徒を動員すると言い出し、教育委員多くが反対した。何を血迷ったか、だ。8月下旬、東京で1日 5000 人の感染が増えていくなかで、スガーコイケは暴走妄想だ。

かつて、東条首相を司馬遼太郎は「発狂組合事務局長」と揶揄した。最多感染率の東京港区のぼくはまるで 1941 年の再現だと見る。責任負わせても意味ない。東条氏は自殺に失敗—ぼくの記憶では小さなピストルのはず。スガができるのは辞職？ 無責任男に責任を取らせても何の意味も効果もない。オリンピックはアスリートの健闘を称えたいが、後は新コロ死者・病人のヤマではないか。

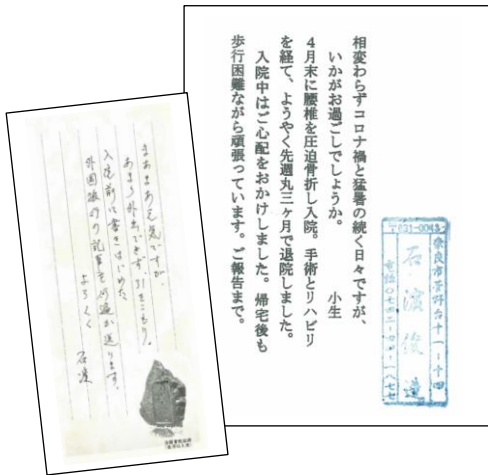
＊

〔横〕浜市長選、勝った！！ 立憲・共産・社民推薦の山中元・横浜市大教授（48）が 50 万票、以下、スガ支持の小此木・前閣僚が 32 万、林・現市長（女）が 18 万、田中康夫（作家）が 17 万、松沢・元神奈川県知事が 15 万（万以下切り捨て）他 3 人は 6 万以下。

ここで注意したいのは、国家公安委員長を捨てた小此木氏と任命者スガの責任、3 年前の広島河井・元法務大臣（アベ任命）の選挙違反・買収問題だ。いずれも法を大事にすべき重要閣僚だ。かれらは、その 2 名の任命責任者は重要さを 1 ミリも思っていないのだ。ぼくは民主主義の日本に絶望する。

〔彼〕らは憲法に目を通してはいるが、その重さを 1 グラムも理解しようとしないう 70 年前後の人生だ。こういうヤカラが政治を牛耳る、ウソをつき通す。今回の横浜市長選は野党系の勝利でハマのドンといわれる横浜港の実力者も 1R 誘致に反対して結束した。喜ばしい日び、ひと言駄弁と許されたい。ぼくの青山は鶴見・総持寺にあり。いずれ墓で「市民」になる。裕次郎さんと「西部警察」を語りたい、と。

石濱さんから現況



昨年4月、奈良でお花見（中止）の案内を務めていただく予定だった MBS-OB の石濱さんからハガキが来ました。また会報への原稿も寄せられ、末尾にメッセージもありました。

「今年4月末に腰椎の圧迫骨折で入院、手術とリハビリで3か月、退院後は歩行困難だが、まあまあ元気」とあります。

「入院前に書き始めた旅行記事を以後何回か寄稿」されるそうで、今号が1回目です。

カシュガルの大バザール

石濱 俊造

中国のウイグル族の人権問題が連日報ぜられている。

その中心の新疆ウイグル地区に初めて行ったのは1992年で、西山さんたちABCの技術グループのシルクロード・ツアーに参加させてもらった時だ。

ツアーで訪れたカシュガルは、中国で一番西の都市で、東西交易の中心地である。町を出たところにあった交通標識に、(右)モスクワ・(左)デリーとあったのに先ず度肝を抜かれた。

100を超える民族がいると聞いたが、白い回教の帽子をかぶったウイグル族を始め、青い目や金髪の人たちがいたる所で見られる。少数民族問題については、「漢族は少数民族です」と笑っていた。

郊外には新疆地区で最大のバザールがあり、各地から多くの人々がロバ車で集まってくる。市内のモスク前の広場でもバザールが開かれていたが、ここは深夜でも賑わっていた。我々の時計では12時だが、時差の関係で現地では北京時間の8時なのだ。

私は中国旅行(30回)の中で一番シルクロードが好きだが、この時の思い出が最も印象的だ。その後もう一度と思っても、どうしたわけか普通のツアーではカシュガルは殆ど入らない。

一昨年、珍しくカシュガルに入ったツアーがあったので、早速参加した。

27年ぶりのカシュガルは、静かで綺麗な町になっていた。バザールのあったモスクは美しい公園に整備され、訪れる人もあまり無い。埃っぽかった街中の道は舗装され、人影もあまりなく、ロバは一頭も見られない。聞けば人の集まりやすい場所は出来るだけ無くして、他の都市から漢族を多数移動させて人口を調節したそうだ。

それ以上の噂のウイグル族の教育機関などは、我々がうかがい知ることは出来ないが、郊外の大バザールなどはどうなったのだろうか、ジェノサイドは事実だろうか。

もう二度と行くことの無い中国奥地のことを考えながら、西山さんたちと真夏の現地で食べたハミ瓜の味を思い出している。



(写真 ゲッティ)

京城（ソウル）からの引揚げ



終戦の年の1945年、私は小学校の（当時は国民学校とよんでいましたが）4年生でした。がほとんど勉強をしていません。座布団を折ったような分厚い防空頭巾を被って登校、授業が始まると敵機来襲の警戒警報のサイレンがなり学校の防空壕に飛び込みます。警報が解除されて出てくると先生から「あれがB29ですよ」とはるか彼方に飛んでいく飛行機、空の要塞といわれ、日本中を空襲で灰燼帰したアメリカの爆撃機を教えられたのです。早退の日など続き、勉強できないまま夏休みに入り8月15日を迎えました。その日から学校は無くなりました。

私は京城、ソウル生まれで、終戦までは京城は日本だと思っていました。皆国民服を着て日本語を話していましたし、本州を内地、朝鮮や台湾、南樺太などを外地と呼び、植民地などという言葉はなくどちらも日本だと教えられ、内鮮一体という言葉が喧伝され、朝鮮人は創氏改名で日本名を名乗っていました。

終戦の前日の14日の朝、出勤した父親が「荷物を出すな！」慌てて戻ってきました。

いよいよ京城（現在のソウル）も空襲が激しくなり、学校からの集団疎開や縁故を頼っての疎開が始まり、我が家も今の北朝鮮に行く事が決まり、そのための荷物が玄関にうずたかく積まれていました。もし北朝鮮に行っていたら38度線を越えられなくて今の私はいなかったかもしれません。（参照『流れる星は生きている』）



1945年8月16日（ウィキペディア）

あくる15日、12時、父は家族全員（母、妹、私）をラジオの前に座るように云い、正座して天皇の詔書（玉音放送・敗戦の辞）を聞いたのです。があがあと雑音が入り、私には意味がよく分かりませんでしたが、父は無言で泣いています。初めての泣き顔を見て笑った妹は一生に1度の頬を叩かれる経験をしています。

我が家の重苦しい雰囲気になれなくなった私は高台で京城市内を見渡せる庭に出たのですが、そこに奇妙な旗が林立しています。母を呼び「日本の旗じゃない！」と一致。植民地だった朝鮮の人たちは朝鮮の国旗を持っていなかったの、自分たちで日の丸の半分に青いインクで巴に塗りつぶし、横に墨で印を加えて朝鮮の太極旗として掲揚したのです。日本が負けたこと、植民地からの解放を祝っての掲揚でした。

その日から、街の雰囲気は一変しました。朝鮮語や白いチマチョゴリの民族服が噴出し、堂々と歩く朝鮮人、華やいだ活気のある祭りのような雰囲気になる一方、今まで威張っていた日本人は身の危険を感じ、日本人と気づかれないように下を向いて歩きました。私も敗者は此処にいるべきではない。と云われているような無言の圧力を感じるようになりました。

危険を避けるために、親戚一同集まって大きな家で過ごすようになりました。ある日ボロボロの軍服を着た3人の日本兵が北朝鮮から逃げて来て助けを求められ、シラミだらけの軍服は脱いでもらって燃やし、お風呂に入って父の衣類に着かえて日本に向かわれたことを思い出します。

父はそれまで禁止だった英語が進駐軍の占領で必要となり、日本人世話会で引揚げの交渉に当たることになり、3人のアメリカ兵が我が家にもやって来るなど珍しい経験もしました。また引揚げ者の世話をしていた父は京城駅で、北から逃げて来た叔母夫婦と再会出来たのです。

日本人の本州への引揚

即刻本土に引き揚げる日本人が続きましたが、我が家にはその気がなかったのでしょうか。学校は8月15日以降は連絡もなく休校となり、暫くして担任が本土帰国後の転校手続きの書類を自宅まで届けて下さいました。

1946年の正月を迎え、幸い家で働いていたオモニ（ばあやさん）の実家が朝鮮のお正月料理を届けてくれ、生まれて初めて朝鮮料理を味わうことができました。またオモニの孫たちが色鮮やかなチョゴリを着て朝鮮の子どもたちの遊び、シーソーゲームを教えてくれて、久しぶりに外に出た解放感でほっとし、一緒に楽しむことができました。これも初めての経験でした。それまでは朝鮮の伝統文化は禁止されていたので、日本のお正月しか知らなかったのですが、彼らはどんなに鬱屈した思いを抱いていたことでしょう。

年を越えると、アメリカ軍から日本人強制帰還命令が出ます。2月に最後の引揚列車が出ることになり、父を残して出征して音信のない叔父の妻と一緒に祖父の実家のある京都に向かうことになりました。荷物は自分で持てるだけと制限されていたので、全てそのまま残し、母はアルバムから写真を剥がしてリュックに詰め、妹には何かの時、アメリカ兵に渡せば役に立つと、日本人形を持たせました。



京城駅



引き揚げ 佐世保港上陸

日本に向かう列車は窓のない貨物列車で藁を敷き詰めた上に座り、父と共に新聞記者で残った父の友人の家族など数家族と一団で釜山に向かいました。玄界灘は荒れる海で船酔いなども起こりましたが、船底で佐世保に向かいました。よほど飢えていたのか、白米のご飯にちりめんじゃこがのったお弁当が美味しかったことを今でも覚えています。

佐世保ではDDTを頭からかぶせられ、京都の祖父の実家に向かいましたが、広島で母から「ここでは新型爆弾（原爆）が落とされて、多くの人々が亡くなった」と教えられ、あの時のレールの軋む音が被爆者の苦しみ情景と重なり体から離れなくなりました。

京都では本家が借家を用意してくれていましたが、何もなく机代わりに八百屋からミカンの木箱をもらいひっくり返して使いました。「引揚者」は差別の対象で冷たい視線をあび、教室では標準語しか使えないことが辛く、早く京都弁を覚えたいと思ったものです。

今も朝鮮では恨という言葉が聞かれます。

「京城」が差別用語とは人から指摘されるまで気づかなかったのですが、広辞苑を開いて初めて、1910年の日韓併合後に日本政府が『漢城』を『京城』に、『韓国』を『朝鮮』に改称したことを学びました。朝鮮人も日本人だと言っても、日本人は高台の家に住む一方、朝鮮人は低地で貧しい生活をしていて、小学校も日本人と朝鮮人は別々だったことなど、やはり平等な扱いではありませんでした。1910年の日韓併合条約から日本人は傲慢になっていたのだらうと思います。韓国にクリスチャンが多いのは日本の植民地政策に抗議し、独立を祈る気持ちからだったとは……。ショックな現実です。

寺本 眞名

前号8月号で、「大阪民主新報」に0BC-0Bの吉村さんの紹介記事が出たことをお知らせしましたが、寺本さんのことも同紙5月16日号が大きく記事にしていたので、遅ればせながら紹介します。
(原寸大紙面が必要なら 世話人井上までお申し出ください)

引き揚げ体験 労働争議 ベアテさんとの出会い

この憲法を

変えてはならない

元映像ディレクター 寺本眞名さん(85)

1946年11月、新しい憲法が公布された時、小学校5年生だった寺本眞名さん(85)は大阪市淀川区在住。太平洋戦争の敗北により一家でやっと朝鮮から引き揚げて来た日から9カ月後のことでした。1949年にディレクターとして制作、テレビで放送されたドキュメンタリー番組「私は女の幸せ」を憲法に書いたベアテの新ニッポロ日記は大きな反響を呼びました。官権の下で改憲の動きが強まる中、憲法を愛さずしてはいけないと語ります。



ベアテさんの思い出や憲法への思いなどを語る寺本さん＝4月29日、大阪市淀川区区内

敗戦の日を境に一変し

寺本さんは1933年昭和8年、日本植民地だった朝鮮の「京城(今いしょ)」、現在のソウルで生まれました。父は女学校の教師でした。後に誕生した妹と共に4人兄弟で、街が見

渡せる高台で暮らしました。その直後庭に出て、京城

市内を見渡すと、妙な旗が

林立しています。「日の丸」の赤丸の下半分を青い

布で塗りつぶし、四隅に

黒い帯を巻いたようなものが

書かれていました。植民地

下で国旗を持ってなかった朝

鮮の人々が、日本の敗戦と

違ひなど分りません。で

朝鮮の国旗「太極旗」にして掲げたものでした。その日を境に街は一変。禁止されていた朝鮮語やチマチョゴリなどの民族服があふれ、身の危険を感じた日本人は下を向いて歩くようになった。一家が日本に引き揚げてきたのは46年2月でした。

憲法に支えられた人生

「京城では、敗戦まで日本は本州を『内地』、朝鮮を『外地』と呼び、どちらも日本だと教えられ、『内鮮一体』という言葉が言いはやされた。朝鮮の人々は創氏改名で強制的に日本名に変えさせられた。1910年の日韓併合後、日本政府が『漢城』を『京城』に改称したことを

日本人が高台に住む一方、朝鮮の人たちは低地で貧しい生活を強いられたこと、

朝鮮と日本の子どもたちは別の小学校に通っていたことなどを後に知りました。

寺本さんは言います。

「新憲法が公布された時、父は『いい憲法ができた』と言いました。小学5

年だった私は明治憲法との

違ひなど分りません。で

だが、振り返るとその後の人生は、憲法に支えられてきたことを実感します」

解雇撤回闘争で勝利し

大学卒業後、毎日放送(MBS)の子会社毎日放送映画に入社した2年目、60年安保闘争とともに労働運動も高まる中、寺本さんの職場にも労働組合が誕生。労働条件の改善とともに「放送を国民のものに」をスローガンに掲げました。



9条変えてはいけない

憲法9条を巡ってベアテさんが話したことで、寺本さんの印象に強く残っている言葉があります。

「ベアテさんは、戦争放棄を唱えた9条がすぐいいと話していました。アメリカにさえない、こんな憲法が変えられ、悪くなることはあってもよくなることはない。私は絶対この憲法がいいと思います、と。アメリカからの押し付け憲法論や改憲への動きについて、寺本さんはこう反論します。

「もともとGHHQが日本政府に新憲法をつくれと言ったのですが、出てきたのが明治憲法にそっくりなものだった。これでは駄目だ。GHHQが作った草案を日本の国会で審議、修正、追加されたものです。それを75年持ち続けたのに押し付けられているのはいけません。何よりも条文を全部読んでほしい。平和のありがたを実感していますので、この憲法を変えてはなりません」

憲法草案作成者を取材

憲法草案作成の責任者た

起草につながりました。「ベアテさんは日本語が達者であつたので、日本の習慣や日本女性が無権利で差別されていた状況をよく知っていました。東北の農村の女性が不作のときは売られることも。差別に敏感で優しい感覚には、彼女自身がユダヤ人だといふ背景があつたのかも知れません。ヨーロッパに残った親戚はアウシュビッツに送られたと話していました」と寺本さんは言いま



スクラップ飛行場

おっちゃん 「先週BSで『我が生涯の最良の年』1946年アカデミー賞を観た」

Yさん 「それ私もみた。第二次大戦終わって戦場から帰還した3人の米軍兵士の物語」

お 「でビックリしたシーンがある。広大な飛行場に見渡す限り何百何千のグラマンやB29がスクラップになって並んでる」

Y 「住宅設備に転用すると台詞で言うてた。あれだけの軍用機を廃棄なら国力の差としか言いようがない。勝ち目はなかったのよ」

お 「もちろんそうだけど、日本には独立した空軍がなかった。陸海軍に航空隊はあったけど。日露戦の日本海海戦（1905年）の栄光から軍艦建造にこだわった。時代に遅れてた。結局戦艦大和が丸裸で出撃」

Y 「必ず沈められると分かってて」

お 「今日は哀悼と我らの誓いの日だね」

綱本さんから2本の寄稿です。



大雨と地球温暖化

雨も降りすぎると困るんです。私の住む団地は、土砂災害防止法が改正（強化）される前に作られているので、現在基準（高さ5メートル、斜度30度）を当てはめてかなりの宅地が土砂災害防止法の違反だと「注意（指導）」されました。当時は「土地の価格が下がる」とブーイングも起こりました。私は今回の雨で、傘をさしてカメラを持って、最近家が建ったところや、さら地で傾斜の強い敷地で雨水の流れる状況を見えています。テレビ報道も、これまでの土砂災害防止法改正の要因になった広島市で七人がなくなった例を挙げて注意を喚起しているのは皆さんもご覧になっていると思います。今回の大雨と “地球温暖化” は関係があるのか知りたいですね。

アマゴ釣りとし菜取り

綱本 守

中学生のころ箕面の川でハスつりをした程度の私が渓流の女王と言われる天然アマゴを釣ったのは今も忘れない。高校時代の親友と二人で奈良県の白川又川(俗称シラコマタ)にアマゴ釣りにいった。

私の釣りはピンピンなどの川虫をエサにして釣る。竿は7本継ぎの竹製で渓流釣りには少し重い、膝まで早い流れに浸かって釣るのでこの竿は身体を安定させる役目もしてくる。

親友が対岸に渡って上流に歩き出した。水量が多く流れも早いので私は対岸にいけない。友人は体重80キロ。私は60キロだから流される。私は丸太を背負ってやっと川を渡ることができた。

この日の釣果は写真①の通りだが一匹だけ大物が釣れた。この時はビクの口からは入らないので左手で魚をつかみ、竿を抱えたまま右手でビクのフタをあけて魚を入れようとしたときだ。私は立っているバランスを崩してしまった。姿勢を立て直そうとしたとき左手に握っていた魚を落してしまった。次の魚を狙って素早く竿を振り込むと釣り糸の赤い目印が水面すれすれまで引き込まれた。



竿が重たい。素早く引き寄せたが釣りのかかりが弱かったのか逃がしてしまった。水面にきた魚をよく見るとさっき私が逃がした魚だ。釣り逃がしたアマゴが二度も同じ針(エサ)に掛かるなんて珍しい。釣り人の未熟さをあの魚は私に教えてくれているようだった。自分が釣ったこともない大物がかった場合に注意するのは、まず身の安全…岩の上から長い竿を出す場合などはつなで体を近くの木々にくくりつける。



アマゴ釣りは上流に向かって釣り登る。その途中にワラビやゼンマイなど山菜が生えていたら覚えておいて帰りに採取する。だが下りは見える景色が違うので山菜がある場所を覚えていても見つけにくい。

ワサビの葉をフキの葉と間違えた

渓流釣りは自然に川の上流で終点となる。そこで弁当を広げて昼食をとる。

親友がリュックのスペースを作ろうと言い出した。帰りの道中で山菜を採取するだめだった。私はいつもフキを採って帰る。あるとき採ったフキを母に見せたら違うはっぱが入っているという。調べるとワサビの葉っぱだ。それからは山道を散策するときもワサビらしい葉っぱを見つけたら匂いでワサビを見つけることにしている。





国論を二分したオリンピックが終わった。日本選手の活躍で過去最大のメダルが獲得でき、コロナより五輪のほうが気になって仕方がなかった菅首相はこれで内閣支持率は上向くとはしゃいでいた。だがその目論みは見事にはずれた。上向くどころか政権維持の危険ラインとされる30%を切ってしまった。これは国民から見放されたということである。

広島市の平和祈念式典の挨拶で菅首相は「核兵器のない世界の実現に向けて力を尽くします」などと誓う部分を読み飛ばしてしまった。真に平和を願っているのならこういうことは起こりえない。オリンピックを平和の祭典と位置づけたがそれは心にもない嘘っぱちの方便だったのか。

そればかりか「広島市」を「ひろまし」、原爆を「げんぱつ」と言い間違えた。長崎市での平和祈念式典では遅刻してしまった。だめだ、こりゃ。これらの失態にたいして被爆者団体からは批判の声が広がっている。

天皇陛下は日頃から菅総理を快くおもっていない節がある。前回の東京大会のときは、天皇、皇后両陛下はそろって開会式に出席していた。それが今回は出席したのは天皇陛下だけ、皇后陛下は出席しなかった。体調が優れなかったのが原因と思いきや、戦没者追悼式には出席しているから、これはコロナより五輪を優先する菅首相への面当てだろう。

陛下がコロナを懸念していることは例の宮内庁長官の「拝察」で明らかだが、ワクチンに関しては、天皇は二回接種したと発表されたが、皇后陛下については一切発表されていない。これも菅首相のコロナ対策に対する不満のあらわれといえるだろう。



菅首相の評判が良くないのは、やはり国民ときちんと向き合っていない政治姿勢にある。自分の言葉ではなく官僚が書いた文章を目線を下げ棒読みするようでは何も伝わってこない。江田五月元衆議院議長は「政治家の言葉は国民への言葉だ。堂々と前を向かないと伝わらない」とのべている。

「あー、うー」宰相こと大平元首相は「あー」と言いながら考えて、「うー」と言いながら文章を練ったといっている。決して能弁ではないが、言葉は少なくとも、信念はよく伝わった。発信力の乏しい菅首相とは雲泥の差である。

国会での答弁や記者会見をみていると、質問にまともに答えず、木で鼻をくくったような答弁を繰り返す。記者会見では各社が事前に質問を提出した中で、これなら（菅首相が）答えられそうだという質問をする記者しか当てない。議員や記者は国民の代表である。それらの人に対する誠実味のない、排他的な態度は国民を愚弄するものである。

注目された横浜市長選挙で菅首相が推す候補者が負けた。それでも総理の座にしがみつくといい。「居座る、スガるは芸者の時に言う言葉・・・もとい、今この時点で言う言葉。今を見よ、政権の無策のせいで大勢犠牲者が出ている」「因果関係があるかどうかははっきりしない」「バカもん。そんなこといってるから国民からソッポ向かれるんだ。責任者出てこい」「わたくし菅が責任者ですが」「何！おぬしが管か、信頼を失くした者は潔く身を引くもんだ」「でも、身の置き場が・・・」「そんなの簡単なことだ。公の場から早く姿を消せばすむ話だ」。どうか真夏の夜の夢にあの貧相な顔が現れませぬように・・・。

孫のコロナ感染で濃厚接触者に…

中村 秀男

東京から帰省した娘家族の孫（中学2年）がわが家で発熱、コロナ陽性でした。解熱剤で下がっていたので放っていたところ、友だちがコロナ陽性との連絡があり、あわてて発熱外来を探して受診しました。その後は高槻市保健所とのやり取りになり、PCR検査指示、陽性連絡を経て、大阪市内でのホテル療養を勧められました。4日後、迎えのワゴン車が到着し、一人で大丈夫かなと心配しましたが本人はケロッとして乗って行きました。さすが今日びの子、母親の心配をよそにゲーム三昧、母弟とラインのビデオ通話、朝寝坊で朝食が当たらなかったり。熱も下がっているため特段の診療もなかったようです。



残ったのは私たち夫婦と娘夫婦と5歳の孫。折から子どもの感染が急増との報道が増えたので、下の孫に感染していないかとの不安。また私たち夫婦も娘夫婦もワクチン2回接種済みですが、ブレークスルー感染も言われはじめ、元気でも部屋の隔離や消毒・換気を徹底しても、安心できませんでした。その後保健所で受けたPCR検査の結果、幸い5人とも陰性が判明、その日に孫も無事帰宅し、やっとホッとしたのでした。

ただ全員引き続き2週間の自宅待機を要請されました。ずっとテレワークで仕事をしている娘婿もストレスが続きます。軽症・無症状でもけっこう大変ですから、重症者の「自宅療養」などとんでもないことです。東京の孫の友だちは自宅組で、味覚障害があるそうです。高槻では保健所の対応にも感謝しています。

PCRの検査拡大についてテレビで、H氏やS氏はその精度が低いとして検査を軽視し、推進派のコメンテーターや学者を口を極めて批判していました。今回の経験から思うことは、孫がPCR検査していなければ、出歩いてウィルスをまき散らしていたに違いありません。私たちも保健所から言われなければ自粛も程ほどでしょう。誤差をふまえても、PCR検査を積極的にやり陽性者はしばらくじっとして、これだけでもずいぶん違うと思います。

自宅療養を原則とする方針など医療放棄です。菅原文太さんはかつて、「国の役割は、国民を飢えさせないことと戦争をしないこと」と言いましたが、私はそれに「国民を病気から守る」ことを付け加えたいと思います。

米 NBC 視聴者激減、これからの五輪混迷

隅井 孝雄

アメリカの3大テレビネットワークの一つ NBC ネットワークが五輪放送権の独占を続け、五輪に支配的な影響力を発揮していることは今では知らない人はいない。

IOC は「無観客でも、NBC の放送がありさえすればいい」として、緊急事態宣言下でも開催に固執した。その判断を菅首相は歓迎し、開催一筋に邁進したのだった。



強気一筋だった NBC

NBC のジェフ・シェル CEO は開会前次のように強気の姿勢を語っていた。「前回 2016 年のリオ五輪でジカ熱感染症の問題があり人々は不安を抱えていた。だが開会式が始まるとすべての人々がそのことを忘れて 17 日間の五輪を楽しんだ。今回の東京五輪も開幕すれば同じようになる」(6/14 ロサンゼルス・タイムズ)



同じ日、NBC の東京五輪の広告収入が 12 億 5000 万ドル(約 1370 億円)に達し、記録を更新すると見込んでの発言だった。NBC によるとプライムタイムの 30 秒 CM 料はリオ五輪の 15%増、12 万ドル(約 132 万円)に達した。

ところが世界の中で最も視聴人口が高いはずのアメリカ国内で NBC の視聴率が激減し最大スポンサーとして威力をふるっていたテレビ会社 NBC に衝撃を与える結果となった。

米国視聴者 42%減

NBC は放送権として、IOC 収入の 75%を負担しているスポンサーだ(22~32 年冬夏6大会の放送権料、120 億ドル日本円換算約 1 兆 3200 億円)。IOC の五輪収入にも影響を与えかねない。東京五輪で NBC が負担し、IOC に支払っている放送権料は 12 億ドル(約 1,300 億円)と推定される。

ところが、東京五輪の米プライムタイムの視聴者数は 1550 万人にとどまった。2016 年のリオデジャネイロ五輪との比較では、42%の減少だった。開会式の視聴者数も 1700 万人弱、過去 33 年間で最低だった。

NBC は広告主との間で、補償策について、五輪中の 8 月上旬から交渉を始めていると米メディアが報じ始めた(米ブルームバーグ通信)。

プライムタイムの体操女子のシモン・バイル選手の棄権や、人気種目である陸上 400 メートルリレーの予選敗退など盛り上がりを欠いた、と NBC は説明している。またその他諸のテニスのココ・ガウラ(米)、ジョン・ラーム(米)、クレイ射撃のアンバー・ヒルなどなど人気アスリートが数多く欠席したことも挙げられるだろう。



また直前に感染増加で無観客になったことや、日本とアメリカの時差(東部時間で 13 時間、西部時間で 16 時間、いずれも夏時間)の影響もあり、プライムタイムに録画の放送が多かったことも、少なからぬ影響をもたらしたようだ。

ストリーミング視聴に流れる



視聴者がテレビ画面を離れ、「ピーコック」というストリーミングサービスで視聴する人々が増大したことも原因の一つに挙げられている。この会社は2020年4月、NBCの親会社「NBCユニバーサル」が発足させた無料動画配信だ。NBCは地上波テレビ、ケーブルテレビ、に加えて、ピーコックストリーミングも合わせて過去最長の7000時間放送をおこなった。地上波テレビの番組視聴者がじりじりと減少しつつあることに備えてのことだとみられる。若い世代がTikTokなどのソーシャル・メディアを通じて東京五輪を追ったことも伝えられている。また他のスポーツなどでも視聴率は落ち込み始めているとも報じられている。

オリンピックも北京(2022冬)、パリ(2024夏)、ミラノ/コルティナ・ダンペッツォ(2026冬)、ロサンゼルス(2028夏)までは決まっている。しかしそれから先、果たして順調に開かれるのかどうか、放送権を巨額負担しているNBCがテレビ放送続けることができるのかどうか、コロナの余波を考えると、オリンピックをめぐる混迷がどうなるのか、予想がつかない事態だ。

九州 OB 会報9月

- | | | |
|--------------------|-------|---------|
| ○国民をウィルスに捧げる菅政権 | _____ | 塩見 桂二さん |
| ○政治家・官僚らの劣化極まれり | _____ | 宮内 信隆さん |
| ○オリンピック強行が事態を深刻化 | _____ | 山下 忠道さん |
| ○政権 支持率低下で終焉に向かうか？ | _____ | 工藤 幸男さん |

コラム

- 塩見桂二のしにかかるコラム (8月15日)
- 近事遠望マスコミ編 「生体解剖 しかたなかったは罪」 東 義人さん
- 池田義一物語 (12) 「百姓仕事を貫く方程式」 池田 義一さん
- 新・先達同輩列伝 「父戦死に耐え剛毅で格好よき演出家」(阿部正春氏) 東 義人さん

近畿会報から「ラジオ・スタッフユニオンの争議解決」 「河邊さんの近況報告」
が転載されています。

「九州 OB 会」報 必要な方はお申し出ください、印刷したもの、PDFファイルどちらでも発信可です。

民放労連大会(オンラインで開催)

◎すべての議案・選挙はウェブ投票で行われたが、大会の期日までに定足数に達しなかったことから、大会の休憩時間に開催した臨時の中央執行委員会で投票期間の延長を確認。その結果、8月に入ってすべての議案は賛成多数で可決された。そして「よみうりテレビサービス解雇争議解決」の大会決議と大会アピールも採択された。

役員選挙もウェブ投票で全員が信任されたが、規約改正は十分な賛成票が得られず、成立しなかった。(8月13日労連メールニュースから)

◎規約改正は、賛成が全代議員の過半数を超え、可決、成立しました。(8月17日労連から各地連・単組あてのメール)

河邊さんの近況

8 月に入って河邊さんに何回電話しても繋がらず、メールしても返事が返ってこないの、何かあったのかと気をもんでいたところ、8 月半ばに「8 月9日に岸和田徳州会病院に入院した。急性肺炎を起こし苦しい」と弱々しい声で電話が入りました。しんどそうなのであまり話はできず、その後、ケイタイのSMSで何回か激励のメール送り様子をみておりましたら、「今日(8/26)、治療を終えて岸和田徳州会病院を退院した。現在は以前治療を受けたことのある『岸和田リハビリテーション病院』に入院し、リハビリに励んでいる」と連絡が入りました。肺炎を患ったときは大変苦しそうで弱々しい声でしたが、懸命の治療のお蔭で今はこれまでの河邊さんの声に戻っています。でもまだ話をすること自体しんどそうで、長話はできないようです。河邊さんはこれまで何回も大病を患いましたが、その都度克服してきました。とても生命力のあるお方です。今回もきっと病を乗り越えてくれるものと信じています。コロナ禍が収まり、河邊さんとお会い出来る日が一日も早く訪れるよう祈っています。

今回の肺炎はコロナとは直接関係ないそうです。

地連OB会のみなさんによろしくお伝えくださいといっておられました。

なお、コロナ禍のため、面会謝絶となっております。

(8/27 森口 記)

編集後記

「基礎疾患のある老人がかかる肺炎は怖い」 会報寄稿の呼びかけや発送後に、都度河邊さんからはメールが届いていましたが、ここしばらく反応がありませんでした。 森口さんから「肺炎で入院」の知らせを聞いた時まず冒頭の言葉が浮かび、とても心配しました。 その後状況が分かって一安心です。

壱岐さんからの「東京雑記」原稿に、今回は名前の後に(90)とありました。卒寿ですね。

石濱さん、 近くにお住まいの富内さん(MBS-OB)から時折状況を伺っていましたが、歩行不自由とは！心配なことです。 今後のシリーズ投稿に期待します。

寺本さんが、前号の齋藤さん、綱本さんの戦時下を記した文に触発されて「私も」となったそうです、貴重な経験をお持ちの会員は寺本さんに続いてぜひ寄稿を！

身近に感染者とは、中村さん大変でした！ お孫さんが軽く済んでよかったです。高槻の保健所に感謝されておられますが、一方巨大都市の大阪市に保健所はたった一か所、これを知った人はまず一様にびっくりされます。廃止された住吉市民病院が残っていれば100床のベッドが確保できたと、住吉医師会の会長が語っておられました。「身を切る改革」＝医療体制の縮小。維新の市(府)政の行きつく先はこんなところですか？

労連大会はオンラインのためか少し混乱したようです。「しんぶん赤旗」が大会不成立と報道したので状況が分らなかったのですが、期間を延ばして成立しました。 来月も皆さんの寄稿をお願いします。